

■エコステーションの目的

ゴミ箱だけを設置する形だと、ゴミを分別せずに捨てられてしまうことが多いからです。ゴミ箱の周りへポイ捨てして山積みにもされることも多いからです。それだとイベント後に一から分別をし直さなくてはならないからです。

■エコステーションの作業

- ①分別したゴミ箱へ利用者様自身にゴミを捨ててもらいます。
「ありがとうございます！〇〇ゴミはこちらです！」と分かりやすくご案内してください。
- ②ゴミ箱は【可燃】【不燃】【缶】【瓶】【ペットボトル】【汁物】に分別しています。
汁物は飲み残しのみをザル付バケツへ流してもらいます。
- ③ゴミ袋の交換はこまめにしてください。
臭いが出たり、詰め込み過ぎると重くて破けてしまいます。
一杯になったゴミ袋は会場裏のゴミ袋集積所へ置きに行きます。
また衛生対策と感染対策で、使い捨て手袋の交換もこまめにしてください。

※下記は毎年エコステーションを担当してくれている大学公認ボランティア団体、昭和女子大学Encore・実践女子大学ボランティア同好会・東洋大学Bboothから聞いた経験談を元にまとめました。

■悪い点

- ①皆がやりたがらない『暑い』『臭い』『汚い』作業になります。
だからこそ誰かがやらなくてはならない大事な役割でもあります。
- ②エコステーションは利用者様がゴミを捨てやすいよう、出入口付近に設営しています。
なので会場内と違いイベントの賑わい感がありません。

■良い点

- ①数名まとまって一緒に作業するので、自然と仲良くなれます。
混雑状況を見ながら自分たちの好きなタイミングで休憩交代が取れます。
- ②直接町の美化に繋がるので、地域住民や行政から高い評価をもらっています。
エコステーションでのボランティアはSDGsとして大学での発表や就職活動に使いやすいです。

